

大分工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	中国語Ⅰ
科目基礎情報						
科目番号	31S506		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	陳 淑梅・劉 光赤著, わくわくスタディ 実学実用 初級中国語 ライト版, 朝日出版社. / 『中日辞典』, 『日中辞典』, 小学館出版.					
担当教員	兒玉 ウェンユウ					
到達目標						
(1) 中国語の“標準語”の発音を把握し, 正確に発音ができるようになる. (定期試験) (2) 中国語で数え方, 時刻などの呼び方ができるようになる. (定期試験) (3) 中国語で挨拶言葉や自己紹介ができるようになる. (定期試験)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	中国語の“標準語”の発音を把握し, 正確に発音ができるようになる.		中国語の“標準語”の発音を把握し, 概ね正確に発音ができるようになる.		中国語の“標準語”の発音を把握し, 正確に発音ができない.	
評価項目2	中国語で数え方, 時刻などの呼び方が正確にできるようになる.		中国語で数え方, 時刻などの呼び方が概ねできるようになる.		中国語で数え方, 時刻などの呼び方ができない.	
評価項目3	中国語で挨拶言葉や自己紹介が的確にできるようになる.		中国語で挨拶言葉や自己紹介が概ねできるようになる.		中国語で挨拶言葉や自己紹介ができない.	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (C2) JABEE 1(2)(f)						
教育方法等						
概要	(授業の概要) 中国語は, 中華人民共和国, 台湾, シンガポールの公用語であるほか, 世界各国にいる華僑や華人たちの間でも話されている. 中国語を母語とする人は約12億人, また第二言語とする人も約2億人いるといわれており, 世界最大の母語話者人口を有する. 中国語は国際連合における公用語の一つでもある. 中国大陸では, 中国語のことを主に「中文」や「₁」と呼ぶ. 「中文」は学術的な用語としてもよく使われる. 他に地方では, 「國語」, 「華語」, 「中國話」などとも言う呼び方もある. 中国では, 北方語の発音や語彙と近代口語小説の文法を基に作られた「普通話」(pǔtōnghuà) が教育現場や放送現場で取り入れられ, 標準語・共通語として使われている. 一般的に, 全人口の7割程度が普通話を理解するといわれ, 方言話者の若い世代は普通話とのバイリンガルとなっていることが多い. 中国語Ⅰでは, まず中国語の基本発音をマスターし, 中国語のイントネーションを身に付け, 簡単な会話の習得を目指す. (教育プログラム) 第2学年 ◇科目 (授業時間) 23.25時間 (関連科目) 中国語Ⅱ					
授業の進め方・方法	(授業の進め方) 中国語の基本発音をマスターし, 中国語のイントネーションを身に付け, 簡単な会話の習得を目指します. (再試験) 再試験はありません.					
注意点	(履修上の注意) 授業後の復習は, 必ず行うこと. (自学上の注意) CDを活用することを勧めます.					
評価						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス		中国と中国語について紹介する.	
		2週	第1課		声調・短母音の発音ができるようになる.	
		3週	第2課		複母音の発音ができるようになる.	
		4週	第3課		子音の発音ができるようになる.	
		5週	第4課		鼻母音・r化の発音ができるようになる.	
		6週	第5課		動詞「是」などが使えるようになる.	
		7週	第6課		名前の言い方などが表現できるようになる.	
		8週	応用練習		口頭練習とリスニング練習.	
	2ndQ	9週	前期中間試験			
		10週	前期中間試験の解答と解説+第7課		動詞述語文などが表現できるようになる.	
		11週	第8課		助動詞「想」などが表現できるようになる.	
		12週	第9課		量詞などが使えるようになる.	
		13週	第10課		動詞「 ₁ 」などが使用できるようになる.	
		14週	応用練習		口頭練習とリスニング練習.	

		15週	前期末試験					
		16週	前期末試験の解答と解説					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	